平尾台と広谷湿原 条約登録「賛同を」

東筑紫学園高生、署名集め

北九州市小倉南区と苅田町にかけて広がる平尾台・広谷湿原を、国際的に重要な湿地を保全する国際条約「ラムサール条約」に登録しようと、東筑紫学園高校(小倉北区)の生徒らが2日、JR小倉駅前で登録の賛同を募る署名活動をした。

広谷湿原はカルスト地形も影響して湿原が保たれている点が評価され、国の重要湿地に登録されている。同校理科部が長年、調査と保全活動を続けてきた。北九州市も新年度予算案に調査費を盛り込む方針を固めるなど、条約登録をめざす活動を応援している。

この日は条約採択を記念した「世界湿地の日」。理科部の生徒を中心に35人が街頭に立った。小倉北区の女性(66)は「平尾台は北九州の国定公園。希少な生き物を大事にしないといけない」と署名に応じた。部長の小森菜央さん(17)は「条約登録には地元の人の賛同が必要。協力してくれる人が多くありがたい」と話した。(井石栄司)

生徒らは署名を呼びかけた=北九州市小倉北区

公立高推薦入試1.40倍

県教委は2日、2018年度公立高校推薦入試の志願状況を発表した。募集人員5386人に対して753人が志願。倍率は1・40倍で、前年度より0・03ポイント低くなった。

県立の全日制92校には、募集人員の1・40倍の667人が志願した。倍率が高かった普通科系は、明善の普通科総合文科コース3・25倍、新宮の理数科3・14倍、明善の理数科3・13倍、修猷館の普通科2・72倍、福岡の普通科2・45倍。職業系では、福岡工の都市工学科2・17倍、小倉商の総合ビジネス科2・14倍、福岡工の建築科、東鷹の総合生活科、八女工の電気科の3科がいずれも2・00倍。市組合立の計9校には募集人員の1・46倍の876人が志願した。

定時制単位制2高校の1期入試志願者数も発表した。ひびきは2・35倍、博多青松は2・15倍。

志願状況は県のホームページで公開中。推薦入試は6日、1期入試は6、7日で、結果は13日に通知される。(渡辺純子)

北九州

報道センター
(北九州)
TEL 093・563・1150
FAX 093・563・1173
メール
s-kitakyushu@asahi.com

購読・配達のご用は
(7~21時)
0120・33・0843
広告のご用は
北九州093・592・7040
(朝日広告社)
オリコミのご用は
北九州093・533・0233
(朝日オリコミ西部)

きょうの天気

6~12時 降水確率 12~18時

0	福岡	20	
0	八幡	20	
0	行橋	20	
0	飯塚	20	
0	久留米	10	

福岡 北西 飯塚 北西
八幡 西北西 久留米 北西